竹林の立竹本数の目安

１　竹林景観を守りたい場合

いわゆる荒廃した竹林を整備し、「竹林らしい景観」として維持したい場合

（副次的にタケノコ生産も可能）

種類別の直径と本数の目安(千葉県)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 竹の種類・太さ | 平均直径 | 立木本数 |
| （㎝） | （本／100㎡） |
| マダケ林 | 大径 | 8  | 70  |
| 中径 | 6  | 80～100 |
| 小径 | 3  | 110～150 |
| モウソウチク林 | 大径 | 12  | 40～50 |
| 中径 | 10  | 60～70 |
| 小径 | 8  | 80～90 |
| ハチク林 | 大径 | 7  | 80  |
| 中径 | 6  | 90～110 |
| 小径 | 3  | 120～160 |

　出典：千葉県「特用林産物生産技術指針（タケ・タケノコ編）」昭和55年3月

２　タケノコの利用できる竹林にしたい場合

　本格的なタケノコ生産林としてかなり疎な竹林に誘導したい場合

25本～40本／100㎡：国マニュアル7Ｐ,23Ｐ他

20本～30本／100㎡：千葉県：「竹林の拡大防止と竹材利用」平成22年3月

モニタリング研修会資料（平成29年7月）

千葉県里山林保全整備推進地域協議会調製